

「マイクロプラスチック・ストーリー」福島上映実行委員会事務局長

松崎敦子（文責）

“プレス・リリース” 文案

【タイトル】

「マイクロプラスチック・ストーリー——ぼくらが作る 2050 年」

【本文】

マイクロプラスチックって、なに？ プラスチックの小さいもの？

そう、マイクロプラスチックとは、サイズが5ミリメートル以下のプラスチックのことです。世界中で、51兆個存在すると、このドキュメンタリー映画、「マイクロプラスチック・ストーリー」の中では言われています。

地球の環境中にばらまかれたマイクロプラスチックの有害性に気付いて、プラスチックを使わないようにしようと、ニューヨークの小学生が声を上げました。彼ら彼女らが科学者とともにプラスチックの特性について学習し、プラスチックは最終的には海に流れ着いて、細かくなって、海洋を果てしなく浮遊していくこと、そして、微細になってもなくなり、化学的に生物全般、そう、人間も含まれる生態系全般に有害な物質になることを知ります。

その様子を見た観客、つまり、プラスチックに囲まれた生活をしている私たち観客は、暗い気持ちになったり、罪悪感を感じたりしますが、スクリーンの中の子どもたちは……

1時間25分のドキュメンタリーは、アメリカという国の子どもたちの行動に日本の子どもも大人も触発される物語です。今年観るドキュメンタリーを1本選ぶとすれば、「これ！」とお薦めできる作品です。現在、上映中。6月15日（木）が最終日です。是非、フォーラム福島5・6に足をお運びください。

上映時間はフォーラム福島ホームページをご覧ください。もしくはお電話 024-533-1717 まで、お問い合わせください。

加えて、6月11日（日）には、午後1:00～2:25の上映の後に、**トークイベント**を同じ会場で開催します。環境問題に造詣の深い方々、活動をされている方の話を聞くことができますので、こちらもお楽しみください。

また、フォーラム5・6のロビーにて、エコロジーや環境に関する情報を発信中です。6月11日（日）には、脱プラスチックのコーヒーショップの「コーヒーポアハウス」が出店して、珍しくておいしい飲み物を提供してくれます。エコロジー関連の書籍販売もあります。福島大学の学生による「リフィルふくしま」という給水スポット活動のPRや、福島南高校のクリアファイル回収活動もあります。スポゴミ・ワールドカップのブースもごさいます。

こちらも映画の前後に、のぞいてみて下さい。